

改めて見直しましょう! 災害に対する備え

地震などの自然災害はいつ起きるか分かりません。日頃から災害に対する備えをしておきましょう。

問 防災安全課 ☎724・2107
FAX 725・3280

1 まず身の安全

2 落ちついて火の元の確認を

3 あわてて外に飛び出さない

4 出火したらすばやく消火

5 出口を確保

6 隣近所で協力しあう

7 扉や壁などに近寄らない

8 ガラスの破片に気をつける

9 災害時要援護者を守る

10 避難は歩いて

地震が起きた時の緊急行動10カ条
地震が発生した時、どのように行動すればいいのか。10項目を覚えておいて下さい。

※災害時要援護者=子どもやお年寄り、障がいのある方、寝たきりの方など

〈住宅の耐震化〉

住まいの耐震化は、震災対策の第一歩です。町田市では昭和56年(1981年)以前に建てられた木造住宅を対象に耐震化助成制度を設けています。耐震性に不安がある方は制度を活用して自宅の耐震化を図りましょう。詳細は住宅課(☎709・0579)へお問い合わせ下さい。

〈家のなかの点検と備え〉

家具の転倒や落下を防ぐ対策をしていますか。家の中をチェックしてみましょう。

- 窓 ガラス飛散防止フィルムを貼っておく
- 家具 L字金具やつっぱり棒などで固定しておく。二段重ねのタンスは連結金具をつける。開き扉には留め金具を
- 冷蔵庫 金具・ワイヤーなどで壁に固定しておく
- エアコン 壁等にしっかり固定しておく
- テレビ テレビ台等に固定しておく
- 照明器具 天井等にしっかりと固定しておく

〈災害用伝言ダイヤル〉

N T T災害用伝言ダイヤル(171)は、大地震等の被災地に開設される、安否等の情報を音声で登録・確認できるサービスです。

番号:171
※携帯電話からも音声の登録や再生はできますが、キーとして登録できるのは被災地内の固定電話の番号のみです。

下記の日時に体験利用ができます。家族などでぜひお試し下さい。

- 【体験利用のできる日】**
- ・毎月1日、15日 0:00 ~ 24:00
 - ・正月三が日(1月1日 0:00 ~ 3日24:00)
 - ・防災週間(8月30日 9:00 ~ 9月5日17:00)
 - ・防災とボランティア週間(1月15日 9:00 ~ 21日17:00)

みんなの町はみんなで守ろう!

〈自主防災組織に参加しましょう〉

今回の東日本大震災のような大規模な災害が発生した時、市などの行政機関だけで災害に対応することは大変難しい状況になります。災害が起きた時の被害を最小限にとどめるには、「みんなの町はみんなで作ろう」という気持ちを持って、地域の皆さんが「力」を合わせて行動することが重要です。

市内には、町内会や自治会などを母体とした「自主防災組織」がすでに286組織結成されています。日頃から各種の訓練を行い、災害時には助け合って、円滑に活動ができるようにしておきましょう。あなたも自主防災組織にご参加下さい。

自主防災組織に対する補助金助成制度があります

詳細は防災安全課(☎724・2107)へお問い合わせ下さい。

町田市メール配信サービスに登録を

皆さんに防災の情報をお知らせする手段の一つとして、防災無線で放送した内容や災害情報等をメールで配信しています。町田市ホームページ内のメール配信サービスをご覧ください。下記携帯電話のQRコードから登録できます。

町田市メール配信サービス <http://www.city.machida.tokyo.jp/merumaga/>
QRコードが読めなかった方は http://www.city.machida.tokyo.jp/mobile/m_merumaga/

町田市の防災計画を見直していきます

都道府県及び各区市町村には、災害から住民の生命、身体、財産等を守るため「地域防災計画」の策定が義務付けられています。市では、東日本大震災への対応等を検証し、市の防災に係る全体計画である「町田市地域防災計画」の見直しをしています。

主な修正ポイント

- ①情報連絡対策
有線電話や携帯電話等の不通時における各防災関係機関等との連絡手段や、町田市防災行政無線の難聴地域への情報伝達
- ②備蓄対策
現在備蓄・保管している食料や資機材の量的な不足の有無や、新たな資機材の整備
- ③駅前滞留者・帰宅困難者対策
交通機関の停止により自宅等へ帰ることができなくなった帰宅困難者の受入場所や、物資の提供等
- ④放射線対策
大気中への放射性物質の放出による飛散や、水道水への放射性物質の混入等への対応
- ⑤災害時医療対策
発災初期における医療態勢や備蓄医薬品

これだけは備えよう! 非常持ち出し品一覧

☑いざという時には、すぐ避難できるように日頃から「非常持ち出し品」を常備しておきましょう。

■ 飲料水・非常食品など 家族3日分の食料・水を準備しよう。水は一人1日3リットルが目安。食料品は火がなくても食べられ、カロリーが高いものを。 	■ ラジオ・懐中電灯・乾電池 まとめて避難用の袋などに入れ、玄関など持ち出しやすい場所に用意しよう。
■ 避難用袋 荷物は一人ずつに分け、リュックなど両手が空けられるものに。 	■ 貴重品・身分証明書 預貯金通帳、印鑑、現金などは貴重品袋にまとめて保管。また保険証・免許証など身分証明になるものもまとめておこう。
■ 救急医薬品 脱脂綿、ガーゼ、ばんそうこう、目薬、消毒薬などのほか、持病がある方は常備薬を。 	■ 食器類 割れにくいプラスチック、金属製の。スプーンやフォークなども用意。
■ライター・マッチ・ライト・ろうそくなど マッチはしけらなようにポリ袋に入れて保管しよう。 	■ 防災ずきん オートバイ用ヘルメットでも代用できます。
■ 軍手・タオル・シート・毛布など 軍手は家族分を用意しておこう。 	■ 缶切りナイフ・筆記具・ティッシュペーパー・トイレトイペーパーなど 簡易トイレとして使用できるビニール袋等も用意しておこう。予備の乾電池や固形燃料などもあると良い。